

会 議 録 (概要)

会議の名称	平成 29 年度 第 2 回図書館協議会
開催日時	平成 29 年 11 月 24 日(金) 13 時 30 分開会 16 時閉会
場所	佐渡市立中央図書館 2 階 講座室
議題	(1)佐渡市図書館基本計画(運営方針)について ① 図書館(室)の現状について ② アンケートについて (2)その他
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	○ 佐渡市図書館協議会委員 会長 木村 和夫 委員 伊貝 秀一 近藤 あゆみ 東 チヨ子 佃 邦子 小松 美知乃 深澤 隆司 渡部 泰治 ○ 事務局(教育委員会 社会教育課 中央図書館) 教育長 渡邊 尚人 課長 越前 範行 館長 濱崎 賢一 主任 伊藤 優美
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	2 人
備考	—

会議の概要 (発言の要旨)	
発言者	議題・発言・結果等
濱崎館長	○佐渡市図書館基本計画(運営方針)佐渡市整備計画スケジュール案 事務局説明

木村会長	<p>スケジュールの案について説明をいただきましたけれど、基本計画のほうを、確実に話し合いを進めて決まるようにしていく。その後、佐渡市の将来ビジョンが32年から策定されるので、この辺のところの状況を見ながら整備計画を話し合っていくと、そういう流れで話し合っていこうと思います。よろしいでしょうか。</p>
伊貝委員	<p>大きな流れは、今ご提案いただいた内容で概ね賛成です。基本計画と整備計画というのは同時に進むことは無理があったんだと思います。まずは、その基本計画、佐渡市の図書館(室)の将来像というものを、はっきり議論して意見を出して作る。それに基づいた佐渡市の図書館(室)の整備はどうあるべきか、と考えるべきであります。佐渡市の将来ビジョンのほうの動きも見ながら整備計画を、基本計画に基づきながらも入っていくというのが筋論だと思います。</p> <p>スケジュール案は単に示しただけで、ということなのか、このスケジュール案を一とおりみるべきなのかどうなのか教えていただきたいです。</p>
濱崎館長	<p>スケジュールの関係の説明をさせていただきます。29年度につきましては、ご意見いただいて12月1日から2ヶ月間は、図書館(室)の窓口で、利用者の方のアンケートを集めたいと考えております。そして、第3回目の協議会でアンケート結果を示したいというのが29年度の流れです。それに伴い整備計画の方は、30年度からアンケートの関係に基づき素案等を作成できればいいなと考えております。基本計画については、5月の中旬に開催予定の第1回目の協議会で、基本計画なり運営方針の素案の作成をして、第2回目の臨時会で基本計画の案を策定したいと考えております。あと時期は未定ですけれども8月、10月ころにはパブリックコメント、またそのあと変更の可能性がありますので作成をしていただいて、12月頃には教育委員会にかけたいという流れです。整備計画については、第2回目のときにアンケートの素案ができればという考えであります。そのあと、島外専門職と島内との意見の交換会ワークショップなどを行って、整備計画の策定案を作ってアンケートの取りまとめができればいいかなというところでありまして、31年度に、基本的な整備計画を作成と考えています。流れ的には2月下旬ころには整備計画の審議を教育委員会にかけたいというところでありまして。</p>
伊貝委員	<p>基本計画の策定のスケジュール的なところ概略、賛成です。ただ整備計画の関係ですが、整備計画をどのようにして考えていくかと</p>

木村会長	<p>いうところの議論が必要だと思います。整備計画をどのようにしてまとめていくべきなのかという手法については、別途議論したほうが良いと思います。</p> <p>整備計画については、ここはあくまでも、こういうまとめ方はあるけれど基本計画・運営方針を決める中で、少しずつ見えるようにする。しっかり話し合っ、それから進もうということですのでよろしいですか。領いてくれている方が多いので事務局もそのような形をお願いします。</p>
事務局	<p>○図書館(室)の現状について 各館の状況について説明 事務局補足</p> <p>○アンケート案</p>
濱崎館長	事務局説明
木村会長	問1に4項目あります。問3については職業。本当に必要なのか検討してもらいたいということですが、いかがですか。
伊貝委員	<p>どういう人がこの回答を書いたのかというのは必要だと思います。区分の仕方も会社員・自営業・学生・主婦・その他で問題ないと思います。あったほうが利用の実態が見える気がします。</p>
東委員	<p>今の意見を踏まえ、アンケートの集計をした結果について男性ではこういう傾向にある、10代はこんな傾向が多かった、会社員はこんな傾向が多かったと、こういうふうに細分化して結果を出してくださるのだとすれば、より分かりやすいと思います。</p>
伊貝委員	<p>アンケートの結果をどのように分析するかについては、やはり図書館(室)の職員といえども専門家になるわけですので、分析をした上で、それから、ここにいる委員さん方にも、その結果をどのように分析するのかというあたりは必要なのかなと思います。</p>
木村会長	1で会社員となっているのですが、よくアンケートで、私みたいな公務員だった人は、その他で公務員と書くのかなと。
伊貝委員	項目増やしてもいいですよ。

小松委員	やはり主婦というところ、無職とも、主婦とも書けます。男の人はここに付けない。できるだけアンケートを書く人の負担を少なくするためにはどうすればいいでしょうか。その他が何に入るのか分かりません。
伊貝委員	区分として主婦を入れるかどうか。今までは、ごく普通に入ってはいた言葉ではありますが。主婦の方は、無職と両方付けるのでしょうか。迷いますよね。主婦がなくて無職があれば丸を付ける。
木村会長	方向としては佐渡市図書館の利用に関するアンケート問1(3)を直すということで、主婦(夫)というのは今のところは外すという意見が多いですけど。
伊貝委員	この考え方は要するに働いているか、働いているとすると働きの形態を、それから学生なのか、それから全く仕事を持っていないのか、というようなあたりが大事だという、そこに注目していくと主婦はいいと思います。
濱崎館長	主婦というのは、子育ての方がよく来られたりするではないですか。簡単に辞めている、辞めていないということではなくて、そういう方が来たときに、どういう利用があるかというイメージです。
木村会長	読み聞かせで、ボランティアで参加させてもらっている方はそういう年代が多いのですよね。
委員	主婦の中には、子育て中の人と家のことだけやる人がいますから、難しいですね。
木村会長	事務局で、新潟市や県立の例もちょっと調べてもらえますか。それで一番いい形を加えながら作っていただくということで。ありがとうございました。
木村会長	住まいについて、クローズアップして抽出すると大事な部分を感じられると思うので、地区は書いていただくと。丸を付けていただく。 それでは、問2「図書館(室)の利用はありますか。」は、利用者向けアンケートなので外すということでいいですね。

木村会長	問3について、利用する頻度で「初めて」というのを消したのは数年は何回と該当すると思って、外したのだろうと考えますが。
伊貝委員	これは来館者に対してやることを前提にして考えれば、これでいかなど。
委員	一般にやるアンケートにも同じような質問があるので、それに合わせたらいかがでしょうか。
木村会長	利用者アンケートの間6を生かすと。よろしいでしょうか。
木村会長	問4。最も利用する図書館(室)はどちらですか。最もですから1つですよ、当然。
伊貝委員	中央図書館も使うし両津図書館も使うしという場合には、それはどうなのでしょう。集計する上では複数回答ではない方がいいのでしょうか。例えば主に利用する図書館(室)を2つ以内でという設問も考えられます。 最も利用する図書館(室)というのは単に来館を想定した設問ですか。
伊藤主任	来館を想定した設問です。 ただ、他の委員さんの話を聞いて、住まいは両津だけど職場は佐和田にあるような場合、確かに佐和田も両津も同じように使っているという可能性はあるだろうなと思いました。そうしたときに、アンケートもらった人は、すごく書きにくいですね。
伊貝委員	主に利用する図書館(室)を2つお選びくださいの方が書きやすいかもしれません。
木村会長	「主に2つ以内で」の方がいいのではないかといいですね。
木村会長	では問5、お願いします。これは小さい子を想定して作ってあるのですか。
濱崎館長	1人で来ているのか、何人で来ているのか、という内容ですよ。友達同士で来ているとかいう来館状況を知りたいというだけなので

	すけど。
木村会長	学習室を使ったりするとなると、友達と行って使わせてもらおうと友人・知人とに丸をする。
伊貝委員	そのケースは友人・知人になるのですか。児童・生徒・学生が2人、3人でやってきて学習室へ入って、それぞれ勉強を一緒にするわけではないから、それぞれの机で勉強するわけですね。
濱崎館長	児童・生徒・学生が友達同士で来るか、1人で来るか、部屋を使うかは別として、入ってくるときに1人で入ってくるか、一緒に行こうという形で来るかということです。
伊貝委員	この設問からは何を求めているのでしょうか。集計した結果、何が見えるのでしょうか。親子で図書館(室)へ来る数が多いなのが見えてくるのか、それとも単身で来るほうが多いな、とかですか。
木村会長	小さい子には渡さないのですよね。
濱崎館長	渡さないですね。ある程度、記入できる難しさがあるので、小さい子にはちょっと難しいのではないのでしょうか。ふりがなを付ければ読めますか。
木村会長	読めるとしたら小学4年くらいからですかね。そうすると何のために聞いているか分からなくなってきます。
深澤委員	5、6年生でもここに書いてある漢字は読めないと思います。意味が分からないことがたくさんあると思いますので、ふりがなをふるか、ふりがなをふっても中々難しいと。中学生以上にした方が安全かなと思います。
伊貝委員	中学、高校対象にアンケート配るのであれば、職業のところを分かるようにしたいです。中学生なのか、高校生なのか。
東委員	これはカウンターに行っていていただいて、来館者にご案内するのですか。希望者だけですか。
伊藤主任	カウンターにおいていただいて、本を借りるなり、問い合わせす

	<p>るなりしてくれた方にはアンケートのご協力をお願いしますということで、お渡ししたいと考えています。自由に置いておけるところには、置いておこうと思っています。</p>
伊貝委員	<p>思いつきの意見ですけど、「書いてみる！」という方には渡してもいいのではないのでしょうか。ただし、書いた子は小学生なのか、中学生なのか分かるようにしたい。</p>
伊藤主任	<p>小学校・中学校・高校、専門学校もありますから、専門学生だとか大学生だとか、そういったところの内訳がわかるような。</p>
木村会長	<p>10代にしておいて、まだ僕は10代になっていないんだと言われたら、小・中・高のところに丸を付けてもらえたら。</p>
濱崎館長	<p>以下とかにしますか。10代以下。以上ってついているのもあるので。</p>
木村会長	<p>どこに付けたらいいか分からないと言ったら、4年生以下は10代以下に丸をつけて、と。以下を付ければいいのですね。</p>
木村会長	<p>5は生かすということでもいいですか。</p>
伊貝委員	<p>支障にはならないと思います。役に立つかと言われれば分からないけれど、項目が多くなればなるほど細かく枝分かれしてデータ作るときに面倒にはなります。</p> <p>図書館(室)のこの後のことなのですが、図書館(室)が交流の拠点という機能を考えたときに、この設問は生きてくるかもしれない。役に立つか立たないか分からないけれど、残しておいたらどうですか。</p>
木村会長	<p>図書館(室)の役割は大きいってことですね。</p>
伊貝委員	<p>そういった観点の議論になったときにも、この設問がもしかすると生きてくるかもしれないです。</p>
濱崎館長	<p>例えば、60・70代で友人・知人となってくると、そういう目的で来ているのかなと思いますし。</p>
木村会長	<p>講座などで来る人は、まさにこれになりますね。いくつもこの中</p>

	<p>中央図書館は講座をもっていますから。では、生かすということではよろしいですか。</p>
木村会長	<p>次に移ります。今度はこの項目、足りないのではないかと、これも入れて欲しいということが出てくるとお思いますので、よく見てください。</p>
伊貝委員	<p>これは複数回答ですか。主にとなっているから、1つしか丸を付けてはならないような気がします。でもいろんな目的で来るでしょう。複数回答ありとか、あるいは2つ以内とか。</p>
木村会長	<p>「どのような目的で利用になりますか。3つ以内でお選びください。」が利用に関するアンケートでの問い方です。少し違いますね。こちらの方がやりやすいですね。2つでもいいので。</p>
伊貝委員	<p>基本的には複数回答ありなのでしょう。</p>
濱崎館長	<p>はい。</p>
伊貝委員	<p>そうしないと、たった1つだけというのは丸を付けにくいですね。</p>
濱崎館長	<p>いくつ以内という書き方は付けたいと思っております。2つがいいか、3つがいいか、1つがいいか、皆様から意見を頂きたいと思っております。</p>
伊貝委員	<p>これは絞る必要があるのでしょうか。だって、いろんな目的があって、その目的のためにここへ来ているということで、1番から7番まで全部丸が付いたとしても、それはそれで構わないのですよね。集計上そういうふうに集計すればいいだけで。極端な例ですが。</p>
濱崎館長	<p>中身はまた協議してもらいたいと思っておりますけど、この内容によって、これからどこを中心に考えていかなくてはということになったときに、これが生きてくると思うのですけど。</p>
伊貝委員	<p>でも、それも集計するとどの番号のものが回答数が多いのか、おのずと分かる。いくつも有りなのではないでしょうか。</p>
濱崎館長	<p>複数回答にしますか。</p>

木村会長	分析するときは、円グラフじゃなく棒グラフにして、どれが多いか一目で分かるようにして、それも年代によって作りやすくやっていけます。そうすると図書館(室)がどうあるべきなのかというのに繋がります。
渡部委員	問6はまさにいっぱい出てくると思います。1～7は図書館(室)に来て何をするかなんですけれども、なぜ来るかと言えば、学習のためとか、待ち合わせとか、これは書けませんけれども、おしゃべりとか、憩いの場を求めるとか入ってきてしまうので、利用する図書館(室)に来て何をするかというのは、もう少し別に付け加えることがあるのであれば、図書館(室)の使い方の幅を広げていいかなと思います。そうすると、本当に広がっていくので大変かなとは思いますが。学習は入れてもいいのではないかなと思いました。
伊貝委員	学習は入れてもいいですね。
木村会長	学習室、ここで言えば講座室ですね。
伊藤主任	そうですね。
木村会長	その人たちはもちろん、読書もする人も多いですね。
伊藤主任	そうですね。おはなし会、読み聞かせ、講座など参加するというのがありまして、もちろん講座の参加者も参加するだけじゃなくて、帰りに新聞読んで帰られたりという方が大勢いらっしゃいます。
木村会長	そうすると、学習室、講座室を括弧で入れるのか、並列でいくのか、どちらでしょうか。
伊藤主任	そうですね。たまたま中央図書館ですとか真野図書館には学習室というのがあるのですけれども、いわゆる学習室というのがない図書館(室)でも同じ用紙でアンケートをとるというふうに考えていますので、学習を目的に来ている人はイコール学習室を利用すると丸が付くというわけではないのかなと。おっしゃったとおり、学習のためという書き方のほうが学習室の利用も、そうじゃない一般の閲覧室で学習する場合もあるので、そこが拾えるのかなという気がします。
渡部委員	日曜日とか夏休みあたりは、中央図書館もそうですし、真野図書

	<p>館でも、やっぱり普通の閲覧室で、子どもたちがノートを開いて宿題をやっていますよ。ですから学習室と限定されると、そっちには行きませんと出てくるかなと。学習のためという形にしておいた方が、丸が付けやすいかなと思います。あまり詳しく分けると、ちょっと書きづらいかなと思いました。</p>
伊藤主任	<p>学習室の利用については、別に統計をとれる方法があるので、わざわざ殊更アンケートでとらなくても、学習室という部屋を使ったかどうかと統計をとっているの、入れなくても大丈夫かなと。</p>
委員	<p>「学習をする」ということは入れないということですか。「学習室」を入れないということですか。</p>
伊藤主任	<p>学習室はいらないということです。</p>
委員	<p>室は要らないということですね。学習は入れるのですね。</p>
伊藤主任	<p>そうですね。そういった利用が全部、その他になり書けないので、項目を起こされてはいかがでしょうか、という意見だったと思うので、学習室の利用に関していえば、統計を取っているの、学習室を利用するという文言は、学習のためとかとかに文言を変えた方が、丸が付けやすくなるのかなと思います。</p>
木村会長	<p>学習をする。順番で言えば7の次の8くらいですかね。主目的は1～6になる。順番は分かりませんが。学習するというのはやっぱり、8になりますよね。</p>
渡部委員	<p>ちなみに、閲覧室で予習・復習はさせてもいいのですか。そういう人は本来、学習室に行ってくださいという形で、図書館(室)は運営されているものなのか、どういうものなのでしょう。</p>
伊藤主任	<p>図書館(室)によっては、自習のための人は学習室にして、その他、資料を使う人は閲覧室を使ってください、というふうに部屋を分けているところはあります。ありますけれども、佐渡市ではそこまで明確にはされていません。なるべく学習室を使ってくださいくらいのことでしか言っていないので、ただ本当に自主学習目的の方が学習室を使いたいという傾向はあるようです。</p>
伊貝委員	<p>本来そうあるべきなのですよ。ずっと閲覧室を占拠して、一日</p>

伊藤主任	<p>中勉強されていても困るわけで、そういう人は上階に上がって勉強してくださいと。それが本来なのです。満室のときもあるけれど。</p>
渡部委員	<p>そうなのです。満室でしょうがないときもありますので、そういった時にも埋まっているところを、さすがにご案内は出来ませんし、閲覧室で学習していても、それはそれで譲りあって。</p>
木村会長	<p>使用実態として学習はあるのです。項目を入れるとなると勉強していてもいいのだと、そういうことを容認する形になるのではないかと。そうなりますと、今後本を読みたいという人の迷惑になるような結果にならないかなと思うものですから。ここもそうですし、他の所からも本を読みたいと思ってテーブルへ行くともう学生が何人もノートを開いていて、座る場所がないということが何回かあるものですから。そのあたりの兼ね合いを発言しながら気になったので。そうであればこのままにして、その他に丸をして、書いてもらう。</p>
伊貝委員	<p>納得という方が見受けられますけれども、いいですか。あとはいかがでしょうか。他の内容で。</p>
木村会長	<p>他のところで、3番、4番がCD・DVDを借りるということで項目を分けているけれども、分けて回答聞かなきゃいけないのかな、という気がしてなりません。要は、本・雑誌・CD・DVDの関係を利用するという目的かどうか聞きたいだけ。そのために予約しに行こうと、実際借りに来ようが、いいのではないですか。いっぱいあると読むのも嫌になるでしょう。</p>
伊貝委員	<p>そうすると4は無くていいですね。借りるために予約するのだからね。それだけでも多少スッキリしますね。</p>
木村会長	<p>4番なしでいかがですか。</p>
濱崎館長	<p>いいですか。</p>
木村会長	<p>はい。</p>
木村会長	<p>あとはいかがでしょうか。 はい。そうするとここでかなり図書館(室)のあるべき姿、こういうのが大事なんじゃないかというのが見えてくるのですが、今度</p>

渡部委員	<p>そこに満足度がいるかどうかということが話題になるのかな。でもまたそこで、要望はあるけど、実際はどうかという意味では大事だと思いますし、7番の満足度についてお願いします。</p> <p>これはあった方がいいと思います。7番に関しては、島外図書館に関するものでしょうか。それとも佐渡の図書館(室)全般に対するものになるのでしょうか。</p>
木村会長	<p>中央図書館を利用する人は、ずっと書けるけど、図書室でもらったもので、そこを主に使う人にとっては、書きにくい可能性もありますよね。そうするとどんなつもりで作ったのかと意見述べてもいいですよ。ここはこうしたらどう、とかいろんな角度から言えると思います。</p>
濱崎館長	<p>これを配って書く図書館(室)のイメージなのですが、何にも書いていませんので、ここは何かあるかと。全体的な内容であれば、全体的にしなければなりませんし。もしくは最も利用すると思われる理由2つなら2つになってしまうかもしれませんし。</p>
渡部委員	<p>問4で、主に利用する図書館(室)とありますが、この主に利用する図書館(室)について書いてもらいたいとか、そういうふうなものが1つあれば絞られると思うのですが。</p>
小松委員	<p>問4に2つ以内とありますよね。1つの人は1つそこ書けますけど、2つの人は、括弧して図書館(室)の名前を入れなくてははいけませんよね。どこの施設の評価をしたかということ。バラつきが出ると思いますよ、中央図書館の方がニーズが多くて。でもそうしないと自分が2つ書いて、こっちは1だけど、こっちは、となると中間取るか、それでは意味ないですよ。</p>
渡部委員	<p>1つの手としては、最初のところにアンケートをもらった図書館(室)を1つ書いてもらって、問7のところは、このアンケートをもらった図書館(室)について伺います、という文言にしてしまえば、1つに限定されるのですが。</p>
木村会長	<p>限定したほうが集計しやすいですね。</p>
渡部委員	<p>集計はしやすいと思います。とにかく図書館(室)でこれをもらうわけですから。</p>

小松委員	期間が2ヶ月ありますよね。そうすれば10箇所回れば、10箇所の図書館(室)を自分なりに評価ができるわけですよね。
木村会長	それをやると今度はデータの狂いが出てしまいますね。
濱崎館長	一応、一人1回だけにはしたいと思っているのですけど。
小松委員	既にやったので次のところではもらわなくていいわけですね。他のところは共通でいいけれど、ここだけはバラけてきますよね。
越前課長	一人1回にしないと、それは無理だと思います。仮に2回やる人もいるかもしれませんが、それはここにしっかり書く。書かなくてはならないと思います。
小松委員	そうしますと、それぞれの施設の職員さんが確認するのですよね。
伊藤主任	「アンケートお済みでしょうか」とお聞きして、「まだです」と言った方に、「ご協力お願いします」とします。
木村会長	さっきのように変更してみますか。そのほうが分析も楽なのではないか。次の8にも関係するのですけど、レファレンスサービスで図書館(室)の資料となっていますよね。資料とは本もあるわけですよね。
濱崎館長	はい。
木村会長	問8の所蔵資料の充実ってなると資料という言葉が引っかかってきます。普通感覚だと本は入らないと、郷土資料となると私も分かるのですが、文学書だとかが資料となるかと。 普通の人を読むと郷土資料みたいなものを感じてしまいますよね。特定の分野というか。この資料という言葉はいいのでしょうか。資料・情報探しなら分かるのですが。
伊藤主任	「図書館(室)の本などを」。
木村会長	などを、とすれば分かりやすいですね。
伊藤主任	それでいかがでしょうか。

木村会長	資料（本など）と入れてしまえば、資料と使っても大丈夫でしょうか。
伊藤主任	「図書館(室)の本などを使って調べ物や」。
木村会長	情報探しというわけですね。
伊藤主任	はい。調べ物や情報探しのお手伝いをしています。レファレンスサービスと見たときに、用語が何のことやら分かりにくいですね。
伊貝委員	調査・相談機能なのでしょう。
伊藤主任	はい。
伊貝委員	この世界では、レファレンスって当たり前につけますが、資料も当然その中には本も入ってきます。一般に感覚から言うと資料と本は違うのですよね。だから資料まで含めて本を指すのであれば、本などにしてくれた方が分かりやすいです。レファレンスは日本語にして、(レファレンスサービス)として。アンケートをとる段階ではカタカナは後ろの方がいいではないでしょうか。どうですか。
木村会長	7番のところ、調べ物に関して職員に質問や相談するサービスを利用するって具体的に なっていますよね。それに合わせていけば、相談って出てきてもいいのだし、括弧して(レファレンスサービス)としましょう。
木村会長	(3)のところを聞きたいのですが、新刊紹介の入るファイル、チラシで探す子もいると聞いたのですが、あれはどこの図書館(室)も必ず置くようになっているのですか。
伊藤主任	置いては ないです。切り抜きのファイルですよね。
木村会長	ファイルではなく、今月の新刊などという名前のものです。
伊藤主任	新着案内ですか。新着案内はどこの図書館(室)にもあります。
木村会長	そこで、利用者は新しいものを調べられますね。それから、この図書館に本を探すコンピュータがあるではないですか。あれは全

伊藤主任	<p>部の図書館(室)に入っているのですか。</p> <p>全部入っては無いです。</p> <p>中央図書館、両津、佐和田、小木、真野の図書館に検索用のタッチパネルがあります。羽茂の図書室については、図書館システムとは別に図書館の検索ホームページから検索できるようなタブレットを置いています。</p>
木村会長	<p>羽茂はそのようなコンピュータがあるわけですね。探しやすさというのは、図書館(室)と図書室にはものすごく差があるのですね。</p>
伊藤主任	<p>差はあると思います。</p>
木村会長	<p>それは整備計画のときに、むしろ大事になってくるのかもしれないけれど、あるべき図書館(室)の姿のときも関係あるのかなと思います。7番はいいですか、このままで。今までに意見が出た範囲で、レファレンスサービスのところを変更すると。では、8番に入ります。さっき言った2番の所蔵資料というところ、伊藤さん、今のうちに考えておいてもらえますか。一般の方が答えやすいように。あとの方は1～12までありますので、お願いします。</p>
伊貝委員	<p>取組に関係すると思うのですが、問10で「図書館(室)サービスの充実で希望することは何ですか。3つ以内でお選びください。」この設問と、それから問12で、「望ましい図書館(室)のイメージを3つ以内でお選びください。」この2つの設問は非常に大事だと思うのです。それが問8、今後取組に力入れてほしいと言うのと、密接に関連しているような気がします。今言った問10、12のような設問は、どうしても最後に入れてもらいたい気がします。そうすると問8の力を入れてほしい取組というのは、関係というのはどうなのかなと思います。</p>
木村会長	<p>問8と問9を無いものとして、こちらの利用に関するアンケートの問10と12を入れると。</p>
伊貝委員	<p>賛成です。その方が分かりやすい。</p>
木村会長	<p>まさに図書館(室)の在り方、今までよりこれが大事です。今も大事にしていますけど、ここが大事だと中心になる事業がはっきりするから。市民の立場に立った目で。今のような形でいけば問10も、</p>

	<p>図書館(室)のサービスに関してという項目は、かなり網羅しているから無理に入れなくてもいいのではと思います。あまりこれを1枚半とか中途半端にやりたくないのですよね。やるなら、裏表1枚でやらなくてはいけないから。問5が入るか入らないかで決まるかなと思います。</p>
佃委員	<p>問7の満足度についてというのは、地域限定ですよ。この質問だけが地域限定。7も抜いてしまって、そこへ11、12を入れてしまったらいかがでしょうか。</p>
伊貝委員	<p>その意見に賛成します。</p>
木村会長	<p>最初は楽に書けますが、答える立場になるときついですよね。減らすというのも大事かもしれないですね。協力してもらいますから。力を入れてもらいたいというところに、満足度も踏まえて力を入れてほしいというか、サービスの充実を希望するというのも満足度に関係しますから。</p>
佃委員	<p>そうすれば、地域を限定することもなくなりますし。</p>
木村会長	<p>スリム化というか、精選って大事なことですよ。</p>
濱崎館長	<p>問7は無くしましょうと。10、12でいいですか。分かりました。</p>
近藤委員	<p>8も無くすのですよね。</p>
濱崎館長	<p>7、8、9を無くして、問10、12を入れたいという意見です。</p>
近藤委員	<p>8に入っている項目で抜けるものがあるのです。</p>
木村会長	<p>こちらの8ですね。どうぞ、続けてください。</p>
近藤委員	<p>ホームページの充実もそうですし、職員の対応もそうですし、皆さんの思われる範囲で抜けていると思われるところは、入れてもいいと思うのですが。おはなし会は抜けていますし。</p>
木村会長	<p>おはなし会はサービスというところですね。</p>
近藤委員	<p>行事というところはあるのですが、おはなし会は抜けていますの</p>

木村会長	<p>で。</p> <p>キッズコーナーとかもろに関わることですよね。そういうところを充実させてというと、どちらかというと問 10 あたりでしょうか。12 になると子どもの成長を支援する場というのがあるから、こちらの行事というところに、おはなし会を含めてもいいのでしょうか。</p>
伊藤主任	<p>おはなし会と入れたときに問 10 の行事に入れるというやり方と、2 番の児童へのサービスに入れるというやり方の両方あるなと思ったのですが、イメージはどちらが近いですか。</p>
木村会長	<p>今のは、児童のサービスというところに(おはなし会など)という表現ですか。</p>
伊藤主任	<p>はい。そういうような書き方もできるのかな、と思ったものですから。他の委員の皆さまも、どちらがイメージに近いのか、もしよろしければ教えてください。</p>
近藤委員	<p>できれば、児童へのサービス(おはなし会)として頂くほうが。</p>
伊藤主任	<p>その方がイメージに近いですかね。分かりました。ありがとうございました。</p>
木村会長	<p>おはなし会以外に、この内容はもっとうこういうふうにとか、他にありますか。</p>
近藤委員	<p>ホームページとありますけれども、図書館(室)のPRのところに入れられるのですよね。ホームページは若い方は見られるので大事かなと。</p>
木村会長	<p>9 番に、ホームページと図書館(室)の利用案内、PR の充実。図書館(室)の広報のPR。利用案内とは具体的にどういうものになるのですか。このあいだもらった小さい、黄色いもの、あれをイメージするのでしょうか。こちらでいうと広報となると佐渡市が発行しているものなども含むわけですね。7 番の言葉の方がいいかもしれませんね。</p>
木村会長	<p>確認したいのですが、思い切って利用者アンケート 7、8、9、10 を外して、利用に関するアンケートにある 10 と 12 を改善して入</p>

	<p>れるというところは共通理解でいいですね。</p> <p>そうすると、用語のところ、今みたいにもっと答えやすい、少し広がりを持たせるなど、そんな意見ありましたらお願いします。</p>
渡部委員	<p>ちょっと関係ないかもしれませんが、問6の方の「どのような目的で利用していますか。」それと旧番の間10「図書館(室)サービスの充実に希望することは何ですか」新しく入るところの10ですが、この順番を問6の質問に合わせるような形で並べ替えると、どういう目的で利用するか、問10で、ではどの点で改善を望むか、というふうにうまく繋がり、整理しやすいのではないかと思います。</p>
木村会長	<p>問6に合わせて順番を再度検討する。新しく入れる、利用に関するアンケートの間10を、よく順番を検討すると。</p>
渡部委員	<p>その点はやった方がいいと思います。</p>
木村会長	<p>という要望で具体的にはできないので、その辺はおまかせということですね。</p> <p>あと、よろしいでしょうか。</p>
東委員	<p>1番の豊富な資料という、この表現なのですが、他のアンケートで多様な本というような表現をしていたので参考にしてください。</p>
伊藤主任	<p>はい、分かりました。多様な本。ありがとうございます。</p>
木村会長	<p>さて4時になってきたので、そろそろ終わりにしたいと思うのですが、今、いろいろな意見が出てきました。記録もしています。それで修正してくださるのですが、修正した結果を図書館(室)にすんと置いて始める前に、皆さんに見ていただいた方がいいのか、任せるか。どちらがよろしいでしょうか。</p>
伊貝委員	<p>送って頂いて意見があれば。</p>
木村会長	<p>本人が電話なり、赤ペンを入れて送ると。その余裕はありそうですか。</p>
濱崎館長	<p>もらって一人の意見の内容を皆さんいいかどうかの判断を。</p>

木村会長	一旦、出したらお任せということでしょう。
濱崎館長	1回出して訂正をされて戻ってきたときに、生かしていいものかどうか、皆さんの意見はなくてもいいのかそのあたり、事務局の方の判断でいいのであれば。
伊貝委員	基本的には、今日の協議会で議論したのであとは信用するのですが、直したら出す前に教えて頂きたいです。思い違いをしているかもしれません。
濱崎館長	それはあるかもしれません。
木村会長	ご苦勞でもそういう形に、今日集約して修正したものを教えて頂くと。そして皆さん、書く立場になってそれを見ていただいて気になるところがあったら早急に連絡するということをお願いしたいと思います。協力をお願いについては、伊藤さんが言ったように書いてないからどうのではなくて、スッと書いてくれそうな形でやっていただくと。
濱崎館長	希望者に配布するという形でいいですか。
伊貝委員	希望者というくくりは。
濱崎館長	子どもでも書きたいという子には渡してもいいのかと。
伊貝委員	書きたいというなら大人に協力依頼しましょう。
濱崎館長	分かりました。
木村会長	小学校でも読めない子もいるだろうと言ったから、そのようなことで配慮の方をお願いします。
濱崎館長	様子を見ながらにさせてください。人によってどうかなというところもあるでしょうし、それは職員の判断ということ。
伊貝委員	まさか、何枚も書いたりはしないでしょうけど。こういうアンケートだし、あまりたくさん書かれても意味の無いことですし。明らかに、何枚も書かれているのがあったら、それは見つけなくてははいけません。

濱崎館長	そうですね。
木村会長	職員が一人しかいないところなら、重複のアンケートはないですが、中央図書館みたいに日によって窓口の人が変わるところは、そういう重複の可能性が出てきます。そのあたりのところは、打ち合わせをして、しっかり「前に書かれていますでしょうか」くらいのことは。
濱崎館長	そこはやらなきゃいけないと思います。
木村会長	会長あいさつ
木村会長	これで本日の第2回図書館協議会を終わりとします。
越前課長	ありがとうございました。またよろしく申し上げます。